議　　題

建設関係部課長会議

１　民有地水路の取扱について　　（豊田市提出）

【要旨】

排水路整備は、整備事業において用地が必要となる場合、寄附を前提に整備を進めてきました。

また、市内には、以前より民地内に排水路が存在する事案があり、公共施設（道路等）のほかに個人敷地の雨水も流入していることから、市に協力するという形として同様に寄附で対応してきました。しかし、近年、土地に対する認識や意識や相続等により、既存水路がある土地の地権者が変わることにより「移設あるいは買収」を求めてくる場合が発生しています。現在はその都度移設等で対応していますが、移設費と用地取得費を比べると用地取得費が安価になる場合もあります。

他の自治体でも同様な話があった場合にどのような対応をするか、ご教示願います。

２　住宅耐震化事業の周知について　　（稲沢市提出）

【要旨】

平成２３年３月の東日本大震災発生の翌年度は、耐震診断及び耐震改修の申込みが殺到しました。しかし、平成２８年４月に発生した熊本地震発生後では、昨年度より申込み件数がありますが伸び悩んでいる状況です。当市では、広報、ホームページ、ポスティング等で周知をしておりますが、ほとんど成果が表れません。各市の取組みをご教示ください。

３　津波発生時の夜間休日における水門・樋門の閉鎖体制について　（半田市提出）

【要旨】

南海トラフ巨大地震等により津波が発生した際、津波到達前に水門・樋門を確実に閉鎖することが必要です。しかしながら、本市の水門・樋門の多くは遠隔操作による自動閉鎖化がされないことから、夜間休日の発災時には自宅が近い復旧部の職員が手動で閉門することを想定しています。

つきましては、夜間休日の津波等発生時に誰が閉門するか等の実施体制や閉門する基準の有無について、各市町において対応方法があればご教示願います。

４　道路照明灯のＬＥＤ化事業について　（弥富市提出）

【要旨】

本市は、平成２７年度に市内全域の防犯灯（防災担当）をＬＥＤ化に移行しました。今後、市（道路管理者）が管理する道路照明灯約４００基について、消費電力や二酸化炭素、電気料金等コスト削減を目的に、ＬＥＤ化に移行したいと考えています。

そこで、貴市における道路照明灯ＬＥＤ化に関する整備状況について、事務の参考とさせていただきたいので、下記項目についてご教示願います。

記

①ＬＥＤ化の整備状況　　整備済み（○○年度）、整備予定（○○年度）、未定

②管理数量　　○○○基（内訳：300W　基、200W　基、その他（　基））

③事業補助金・交付金の活用　　環境省によるもの、市単独、その他（　　）

④ＬＥＤ化に伴う契約方式（記載例：包括リース方式、リース期間 10 年で満了後、市に無償譲渡等）

⑤ＬＥＤ化による年間１基当たりのリース料（税込）【アバウトで可】